

議 事 録

会議名	平成 29 年度 中部日豪ニューージーランド協会連絡会議
日 時	2017/02/25(土) 11:00～15:00
場 所	可美協働センター 会議室
出席者	奥洞恵子夫妻(飛騨高山)、関谷巖(岐阜)、足立英雄(名古屋)、金原修平(岡崎)、宮本忠夫妻(三重)、花井和夫(静岡県)、(富山協会委任状) 7 協会 大橋千秋、岩堀博志、西畑隆久、山本敏雅、小澤早幸、高見裕行(静岡)、篠ヶ瀬大地 他2名(浜名湖) 17 名 (敬称略) 議事録署名人 篠ヶ瀬大地 ㊞

■ 議題内容

- 第1号議案 各協会からの質問事項と豪連合会(大阪)からの要望
 第2号議案 中部日豪 NZ 協会として第1号議案の検討、審議
 第3号議案 その他

■ 開催の挨拶

- ・司会:岩堀博志静岡県理事
挨拶:花井和夫静岡県会長
- ・議長、議事録署名人の選出
 - ・議 長 :飛騨高山会長 奥洞恵子
 - ・議事録署名人 :浜名湖会長 篠ヶ瀬大地
- ・議長挨拶
- ・各地区日豪協会挨拶(名古屋、飛騨高山、岐阜、静岡、三重、岡崎、浜名湖)
(富山日豪ニューージーランド協会状況意見発表)

承認

■ 第1号議案 各協会からの質問事項と日豪連合会(大阪)からの要望

1. 全国日豪協会と全国日本ニューージーランド協会と連合会が2つあるのは何故か？
別紙「全国日豪と全国日本 NZ の歴史」を参照
 - ・各地区との兼ね合いにより「NZ」の名称が消滅したりした経緯がある。1990 年以前、全国日豪ニューージーランド協会会議
 - ・地区によっては「(地区)日豪協会」で NZ がない協会もある。(例:岐阜日豪協会)
→(社)東京が全国日豪 NZ を 2 回開催していたので 1990 年 1991 年に NZ をとり全国日豪協会連絡会議とし 1990 年を第 1 回とする事を東京が納得し 1991 年から参加した。今考えると調整不足?!。
→当時は、「別々の国」と豪大使館より指摘を受けた。
→昨今は NZ、豪の大使の関係が良好であるため、日・豪・NZ と一体で親交を深めている。
→今後、一体化を目指す場合は、全国理事会・連合会で議論すべき内容であり、全体的な調整事項が必要。また、今後の新規会員に対しては歴史的背景も含めた説明が必要。
2. 全国日豪総会、全国 NZ 総会を隔年交互に開く必要があるのか？
 - ・現在の「日豪」「日 NZ」と連合会が2つある形では必要があると思われるが、今後「日豪 NZ」と連合会を一体化する、協力体制を作ることができれば隔年交互で行わなくても良いのではないかと。※連合会の一体化には全国との調整が必要。

確認

承諾

承認

3. 『輪番制の廃止』いつから役員、事務局が輪番制でなくなったか？

<ul style="list-style-type: none"> ・H17 設立当初から「引き受けることのできる地区」が事務局を引き受ける形となっている ・設立時にも輪番制、数年周期で変更する必要があるという認識は誤りである。H22 東京問題で決まっている。 	確認
<p>4. 総会の規模、あり方が「みんなの望む無理のない総会」になったのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各協会のできる範囲での総会開催で問題ない。 	確認
<p>5. 次回(2019年)NZ 総会、中部ブロック開催は可能か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙「富山意見書」、「名古屋意見書」、「静岡意見書」参照 ・他ブロックからの立候補がなければ中部ブロック開催で差し支えない <p>→開催地は静岡を候補とするが、中部全体で協力して実施していくべき。</p>	承認
<p>■ 第2号議案 中部日豪 NZ 総会をとして第1号議案の検討</p>	
<p>1. 全国日豪ニュージーランド協会としての名称を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経緯としての資料別紙「全国日豪と全国日 NZ の歴史」の提供と引継ぎは、重要。 ・「日豪協会」「日本 NZ 協会」は、別である方が今までの歴史的・形態的に良いのではないかと。豪 NZ 協会統合等については別途理事会・双連合会などに推し量って決定すべき <p>【中部としての見解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国日豪、全国日 NZ と名称はそれぞれあって良いものとする。 ・ただし、両協会が協力して連合会を同時開催しても差し支えない。例えば、同日、先に全国 NZ の理事総会その後、全国日豪の理事総会を開き最後は、全員での「意見交換会・懇親会」とする。 	承認
<p>2. 豪、NZ 総会を隔年交互開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模については大規模・小規模を問わない。開催地区の裁量で実施規模を定めて差し支えないと考える。 ・総会の開催は、事務局となった地区の規模を問わずに実施できる事を基本として考え小規模(岐阜意見書が発表)であっても問題ないものとする。 <p>【中部としての見解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国日豪連合会と全国日本 NZ 連合会として開催協力すると言う理解承認が得られるのであれば、連合会総会開催は同時開催でも問題ない。 	承認
<p>3. 役員、事務局の承認</p> <p>【中部としての見解(今後、全国日豪&全国日本 NZ へ意見を上げていく予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局のあり方について今後、検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> →会長の所在地が事務局であるという形態について規約見直しが必要。 →変化に対応できる柔軟な体制作りと規約改正が必要。 →全国日本 NZ にも慶弔規定が必要。 ・責任理事、投票権などについて今後、検討する必要がある。「理事総会」である事の確認。 	承認 確認
<p>4. 総会のあり方と内容</p> <p>【中部としての見解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計報告、情報交換、相互協力を主とする。(くじ引きやアトラクションをなくし親睦を主とする。岐阜意見書から) 	承認
<p>5. 役員改選推進(日 NZ 協会)</p> <p>【中部からの見解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現会長の内藤氏が辞退する予定のため、時期会長について選任が必要。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・全国事務局は、リンナイから役員会を経て早期移転案が提出。 ・現状の規約では、所属協会の推薦を得たものも理事役員になれる。理事総会であることが高山で承認されている。 ・規約を改正・明確化する必要があると考えるため、改定案を全国に意見提出する。 <ul style="list-style-type: none"> →会長が所属する協会に事務局を置くことを改定する必要がある。 →事務局、事務局員は、ブロックまたは、必要に応じて全国で分担できる体制が望ましい。 →会計と監査の職責は、明確に定めていく必要がある。 →2～3年程度で入れ替わることのない事務局が望ましい ・今年、役員改選の年なので中部ブロックとし奥洞会長（飛驒高山）を会長へ、宮本会長（三重）を副会長へ推薦するがアンケート投票を行い役員会の承認を受け理事総会で承認する。 <p>■ 第3号議案 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮本会長（三重）より <ul style="list-style-type: none"> →東海自然歩道を歩きたいとオーストラリアより相談があり、検討調整を進めている。今後各地区に相談・協力をお願いすることがあるかと思う。 <p>■ 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>承諾 確認</p> <p>承諾 承認</p> <p>承諾</p>
--	---

備考) 文責:高見裕行



2017中部日豪ニューズランド協会連絡会議 意見書と議事

	飛騨高山	岐阜	名古屋	岡崎	三重	富山	浜名湖	静岡	まとめ
全国総会規模	簡素・盛大も良い	簡素	簡素・自分の協会に併せて	簡素	個々に併せて	簡素	簡素	簡素(どこでも出来る)	全協会簡素
総会目的概念	友好親睦	友好、理解	二国間の草の根交流	友好親睦	個々の活動報告	友好・理解・親睦	友好・理解・親睦	友好理解(ゲーム等なし)	ゲームやイベント系
総会運営	ブロック開催	近隣協会JV	ブロック開催	ブロック開催	ブロック開催	ブロック開催	ブロック開催	ブロック開催	ブロック開催
総会開催	隔年	隔年	隔年	隔年	隔年	隔年	隔年	隔年	豪NZ同時開催
豪NZと一緒に	賛成	賛成(負担減)	賛成	賛成	賛成	富山は、豪NZ協会	賛成	賛成NZ一帯一懇親会を同時	豪NZ同時開催
総会内容	情報交換・懇親	情報交換・懇親会	情報交換・懇親会	情報交換・懇親	情報交換・懇親	情報交換・懇親会	情報交換・懇親会	情報交換・懇親会	情報交換・懇親会
全国協会運営	負担にならない協会	負担にならない協会	役員任期2年・役員拡大・規約改正	負担にならない協会	負担にならない協会	負担にならない協会	負担にならない協会	負担にならない人と組織	ブロックで
会長及び役員	奥洞会長推薦	奥洞会長推薦	役員拡大・規約改正	奥洞会長推薦	奥洞会長推薦	富山は、会長不可	奥洞会長推薦	各協会の事情を考慮・役員会で議	中部・奥洞会長推薦
事務局	中部静岡	中部静岡	総会開催力がある協会に事務局	中部静岡	中部静岡	不可・ひとり事務局	中部静岡	相応しい所で複数協力	中部ブロック静岡
全国日本NZ協会連合	反対・総会は一緒	賛成・総会改革	現状通り継続	反対・総会は一緒	意見なし	総会は、一緒	一緒にして負担軽減	反対・総会同時	
リンナイ事務局	早期移転	早期移転	早期移転	早期移転	早期移転	早期移転	早期移転	任期まで、早々に引継ぎ	早期移転
各協会の運営	現状が変化	現状が変化	困難	現状が変化	現状が変化	現状が変化	現状が変化	寄付行為は無理	昔と違う
次回開催	中部B静岡	中部B静岡	中部B静岡	中部B静岡	中部B静岡	不可	中部B静岡	中部ブロックで	中部B静岡

全国役員会の開催が必要